



大阪・関西万博「共創」への挑戦 ～多様な価値観の共存を目指す～



ウスビ・サコ氏
Dr. Oussouby SACKO

(公社)2025年日本国際博覧会協会
副会長・理事

マリ共和国生まれ。中国留学を経て1991年に来日、1999年京都大学大学院工学研究科博士課程修了。専門は空間人類学。「京都の町家再生」「コミュニティ再生」など社会と建築の関係性を様々な角度から調査研究する。2018年4月より任期満了の今年3月まで京都精華大学学長、現在は同大学全学研究機構長などを務める。

昨年のドバイ万博は、世界がひとつになつて課題を解決し、サステイナブルな社会を作っていくという、万博の新しい形を示しました。2025年に開かれる次回の大阪・関西万博では、加えて「面白い」という関西人の特異性と、寛容で人を受け入れるホスピタリティへの期待も高まります。

大阪・関西万博のテーマは、「いのちの輝く未来社会のデザイン」です。「いのち」を大切にすること、は、家族、地域社会、人間、自然環境、そして地球を大切にし、より良い共存関係を築こうとすることだと私は理解しています。

「グローバル化」は、「ヒト、モノ、カネ、そして情報が国境を越えて自由に行き来し、それらの価値は一国の判断で決められない」とこと定義できます。国が基準となる「国際化」とは異なり、個や集団がグローバル化の基盤になります。

こうだと自身の経験を基にした本来とは異なるイメージを抱いていることが少なくありません。京都には日本の歴史拠点であり、日本文化を正しく発信できるまちです。外国人が持つ日本や日本文化への誤解を解くのも京都の役割だと思います。

日本では、すべてを相手に伝えずに、相手が理解することを期待します。契約書に書いていない内容の方が重要だったりします。こうしたハイコンテクストな(＝暗黙の了解が多い)文化は、外国人には通じません。日本独特の意見を言わない美德、物事を批判的に捉えない、なども、実は協調性がないことの裏返しではないかと思ひ始めています。

生まれてから死ぬまで、ひとつの文化の中だけで過ごすモデルもはや通用しません。異なる文化や考えに触れた時に、同化したり流されるのではなく、自身の軸となる

多様性も重要です。多様性とは、個人の違いを認めるか認めないかではなく、違いを認識することです。マイノリティの優遇ではなく、マジヨリティの意識を変えることこそが、多様性が進む社会では重要になります。私は1991年に京都へ来ましたが、「同化」するのでなく、どうやって自分の居場所を開拓するかを大事にしてみました。

我々には、自分の体験をもとに、異文化を判断してしまう癖があります。例えば、私が日本語で高齢の方に道を尋ねても、「英語がわからない」と答えられます。外国人である私が話す言葉は何であつてもその人の耳に届く時には英語に変わるのです。これから万博をはじめ、様々な機会に多くの外国人がやって来ると思いますが、先入観で決めつけることなく、関わりの中でその人を理解してほしいと思います。同様に外国人も、「日本・京都は

文化を大切にしながら互いに理解を深めていくことが大事です。私は、「京都に来て、自分がよりマリ人になった」と感じています。

話は変わりますが、万博開催にあわせて、様々なイベントの開催が予定されています。これまでに横浜で開催されていたTICAD(アフリカ開発会議)には神戸が立候補しています。万博を契機に京都を世界にアピールするためにもそうした機会をどのように取り込んでいくのが問われます。

結びに、アフリカの言葉をみなさんに贈りたいと思います。「早く行きたければ、一人で進め。遠くまで行きたければ、みんなが進め。」ご静聴ありがとうございました。

※この抄録は2022年7月26日に開催した本所議員総会での講演内容をまとめたものです。



会場建設費の寄付ご協力をお願い

(公社)2025年日本国際博覧会協会では会場建設費1850億円の3分の1にあたる617億円の民間資金の調達に取り組んでいます。

「大阪・関西万博」京都支援協議会といたしましても、万博の成功に向け、機運醸成活動や万博開催に伴う経済効果を京都に誘引するための諸活動に取り組むとともに、広く京都の企業の皆様にも、会場建設費のご寄付をお願いしております。

本寄付金につきましては、財務大臣指定の寄付金として全額損金算入が認められており、複数年度での分割によるご寄付も可能です。

コロナ禍の厳しい状況ではございますが、京都・関西の成長、発展のため、格段のご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、ご寄付にご協力いただけます方は、左記のホームページよりお問い合わせをお願いいたします。

寄付についての詳細・受付窓口はこちら
大阪・関西万博京都支援協議会HP
<https://expo2025.kyo.or.jp/>



万博まであと何日?

「大阪・関西万博」の機運醸成を図るため、大日本印刷株式会社の協力を得て、万博開催日までの残日を表示する電子日めくりポスター(カウントダウンボード)を京都経済センター2階入口に設置しています。お近くにお越しの際はぜひご覧ください。



2025年日本国際博覧会 [略称「大阪・関西万博」]
会期 2025年4月13日～10月13日

大阪・関西万博に関する過去記事はこちら

